

区役所における取り組み

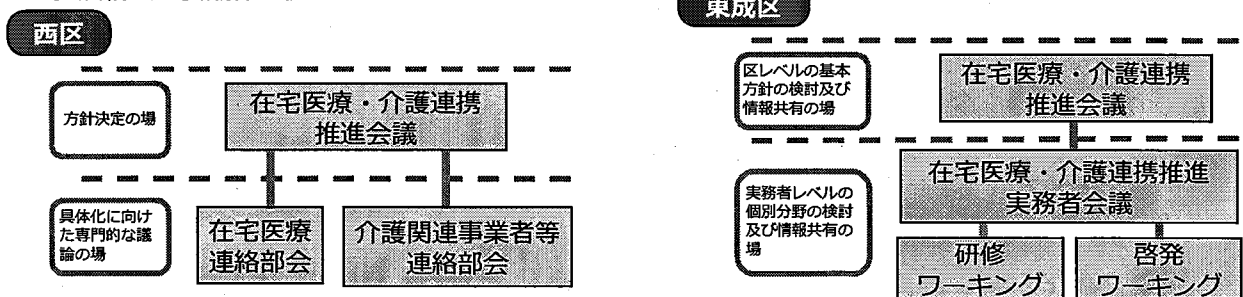
<イ：各区の「在宅医療・介護連携推進会議」の状況>

◎経過…平成27年4月より各区において「在宅医療・介護連携推進会議」設置（市内全24区で設置）

◎形態…多層構造（各区の実態に応じて設置）

◎内容…各区の連携の現状や課題を共有し、区の特性に応じた多職種研修や区民啓発等について検討

<多層構造の会議体の例>



<ア：区の医療・介護資源の把握> (H28： 24 区)

◎各区の医療機関や介護事業所等を把握し、市民向けのマップを作成、関係者向けのリスト作成

<カ：多職種研修> (H28： 21 区)

◎各区において区内医療介護関係者での講演会や事例検討・ワールドカフェ等の研修会を開催し、“顔の見える”関係を推進

<キ：区民啓発> (H28： 23 区)

◎区民向け啓発リーフレットを作成

◎区の広報誌に在宅医療・介護に関する情報を掲載

【平成 28 年度 11 区相談支援室における取組みについて】

(実績報告より)

<ウ：切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進>

在宅医療の体制づくり

- ・夜間・休日のバックアップ体制として当番制を決めた。
- ・「在宅かかりつけ医交流会」を開催。
- ・在宅医と訪問看護ステーションの情報交換会開催。
- ・病院と訪問看護師との入院時カンファレンス実施により再入院率減少、在宅復帰率増加。

在宅医療・介護の現状、連携課題の把握

- ・アンケートや聞き取り調査を実施。
- ・医科歯科連携についての課題を検討し、入院時の歯科受療機会の確保ルールを検討。
- ・区内介護施設にアンケート実施、空床状況の周知や入所時の地域とのルール化を検討。
- ・医師との連絡が取りにくいというケアマネからの声を受け、医師会内の医師と連絡が取りやすい時間帯（「ケアマネタイム」）を確認し公表。

<エ：医療・介護関係者の情報共有の支援>

情報共有ツール等

- ・各事業所や医療機関ごとに異なっていた情報共有シートをより効果的なものに統合・更新を検討。
- ・区役所と連携することにより、効果的な啓発・周知

<オ：在宅医療・介護連携に関する相談支援>

【医療関係機関からの相談内容】

- ◆病院：退院後に通院が困難なため往診可能な医師について
- ◆病院：呼吸管理対応が可能な訪問看護ステーションについて
- ◆訪問看護ステーション：言語聴覚士のいる訪問看護ステーションについて
- ◆診療所医師：妻の死亡後、閉じこもりがちで低栄養傾向にある患者の訪問看護ステーション導入について
- ◆かかりつけ医師：遠方に入院中の患者家族から近隣への転院について

【介護関係機関からの相談内容】

- ◆地域包括支援センター：認知症の高齢者の家族からの虐待ケースの入所・入院先について
- ◆地域包括支援センター：多臓器がん患者の医療保険での訪問看護の利用について
- ◆介護事業所：往診可能な精神科、眼科、耳鼻科医師について
- ◆認知症初期集中支援チーム：サポート医以外に認知症患者を診てもらえる医師について
- ◆介護支援専門員：通院困難な患者の医療サービス各種の調整について
- ◆介護支援専門員：成年後見人制度における診断書の作成が可能な医師について

高齢者等在宅医療・介護連携に関する相談支援事業 11区月報集計（平成28年8月～平成29年3月）

年度累計数（8月～3月分）（単位：件）

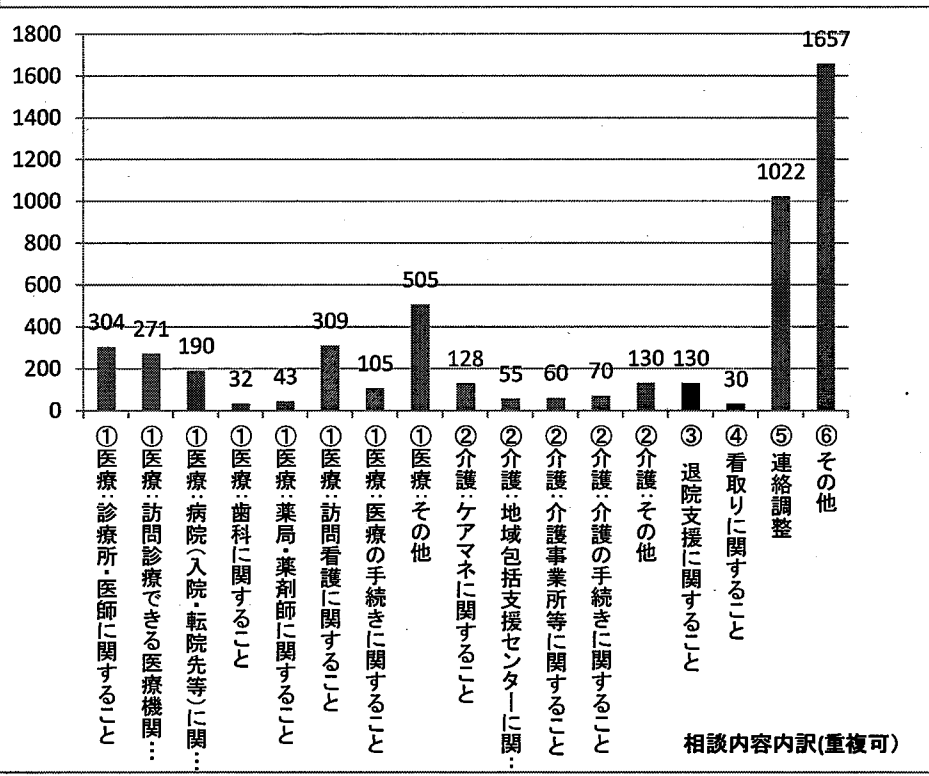
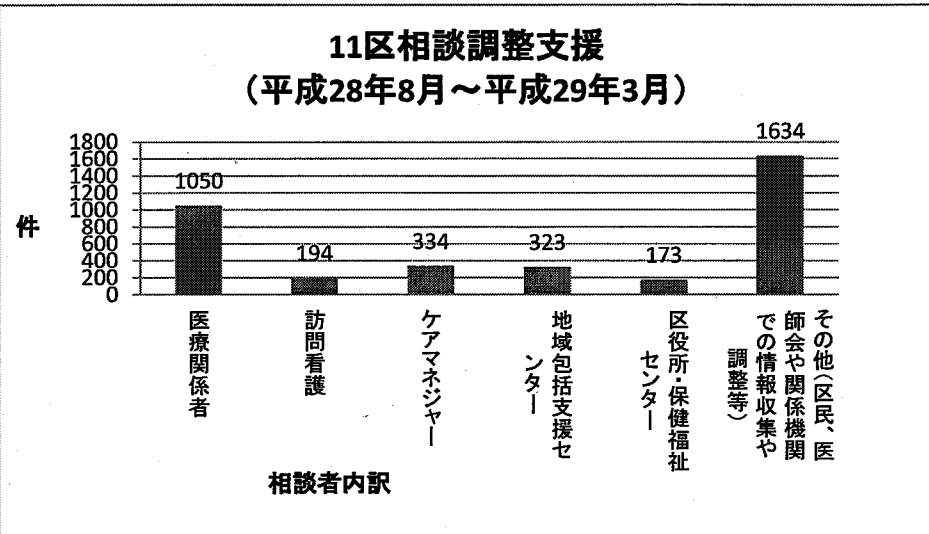
1) 相談窓口の設置		
窓口開設日数	1709	日

2) 相談支援について		
《相談者内訳》		
① 医療関係者	1050	件
② 訪問看護	194	件
③ ケアマネージャー	334	件
④ 地域包括支援センター	323	件
⑤ 区役所・保健福祉センター	173	件
⑥ その他(区民等)	1634	件
合計	3708	件

11区の内訳件数
(最少～最大)

① 医療関係者	(5 件 ～ 242 件)
② 訪問看護	(1 件 ～ 80 件)
③ ケアマネージャー	(2 件 ～ 72 件)
④ 地域包括支援センター	(5 件 ～ 57 件)
⑤ 区役所・保健福祉センター	(3 件 ～ 45 件)
⑥ その他(区民等)	(6 件 ～ 592 件)
合計	(49 件 ～ 966 件)

《相談内容内訳(重複可)》		
① 医療	診療所・医師に関する事	304 件 (2 件 ～ 113 件)
	訪問診療できる医療機関に関する事	271 件 (2 件 ～ 69 件)
	病院(入院・転院先等)に関する事	190 件 (2 件 ～ 89 件)
	歯科に関する事	32 件 (1 件 ～ 14 件)
	薬局・薬剤師に関する事	43 件 (0 件 ～ 21 件)
	訪問看護に関する事	309 件 (1 件 ～ 125 件)
	医療の手続きに関する事	105 件 (0 件 ～ 48 件)
その他	505 件 (3 件 ～ 217 件)	
② 介護	ケアマネに関する事	128 件 (1 件 ～ 63 件)
	地域包括支援センターに関する事	55 件 (0 件 ～ 41 件)
	介護事業所等に関する事	60 件 (2 件 ～ 33 件)
	介護の手続きに関する事	70 件 (1 件 ～ 32 件)
その他	130 件 (1 件 ～ 55 件)	
③ 退院支援に関する事	130 件 (1 件 ～ 69 件)	
④ 看取りに関する事	30 件 (0 件 ～ 10 件)	
⑤ 連絡調整	1022 件 (4 件 ～ 344 件)	
⑥ その他	1657 件 (16 件 ～ 434 件)	
合計	5041 件 (63 件 ～ 1452 件)	



これまでの事業の取組みから考えられる健康局における課題と対応策

【目的】 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

～多職種連携～

- 区役所・コーディネーターのスキルアップと連携
 広域での連携の仕組みづくり

 病院との連携
 評価指標の検討

対象	課題	目標	健康局における平成29年度の対応策
区役所	#1 実務者のマネジメント力	○区役所実務者が事業の必要性を理解し、区の課題を明確にし連携推進のための対応策を検討することができる。	○実務者マニュアル作成及び改訂 ○研修実施 ○初任者研修実施 ○好事例等の情報提供
	#2 各区の在宅医療・介護の現状把握及び課題抽出		○各区の医療・介護連携の課題の整理と分析(高齢者実態調査や各区のアンケート結果等により)の支援
	#3 地域特性に応じた効果的な区民啓発		
	#4 受託法人との連携		○区役所及び受託法人の定期的な打合せ等の実施 ○区役所及び受託法人の研修実施
受託法人・コーディネーター	#1 受託法人によるバックアップ体制の強化	○在宅医療・介護連携支援コーディネーターが医療・介護関係者の連携における相談業務を行いつつ、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制を構築を推進することができる。	○研修実施 ○好事例等の情報提供
	#2 コーディネーターのスキルアップ (在宅医療・介護の連携における課題の把握と対応策の検討) (後発区のスキルアップ)		○研修実施 ○好事例等の情報提供 ○連絡会(毎月)の開催(スキルアップのための内容をワーキングチームにおいて検討) ○各区の医療・介護連携の課題の整理と分析(高齢者実態調査や各区のアンケート結果等により)の支援
	#3 区役所との連携		○区役所及び受託法人の定期的な打合せ等の実施 ○区役所及び受託法人の研修実施
	#4 情報共有ツールの検討推進		○好事例等の情報提供
	#5 病院との連携		○コーディネーター活動を通じた区内病院との連携状況の実態把握の推進
	#6 関係機関への周知		
健康局	#1 行政区域を越える広域連携の課題整理と仕組みづくり	○区域を超える連携の課題を整理し対応策を検討することができる。	○区域を超える医療(病院)との連携における課題及び対応策の検討 ○隣接市との連携(情報交換)
	#2 適切な事業評価指標の検討	○事業全体の評価指標を検討することができる。	○各区の医療・介護連携の課題の整理と分析(高齢者実態調査や各区のアンケート結果等により)の支援 ○医療・介護の現状把握のための実態調査
	#3 各高齢者施策との調整		
	#4 保健医療計画・介護保険事業計画との整合性		